

(仮称)真庭太陽光発電事業

環境管理報告書

(令和7年度)

令和8年5月

合同会社 NRE-46 インベストメント

— 目 次 —

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1
第2章 対象事業の名称、種類及び規模	1
2.1 対象事業の名称	1
2.2 対象事業の種類	1
2.3 対象事業の規模	1
第3章 環境管理（事後調査）の概要	2
3.1 環境管理（事後調査）の目的	2
3.2 環境管理（事後調査）の内容	2
第4章 環境管理調査（事後調査）結果	7
4.1 動物・生態系：サンバの繁殖状況に関する調査	7
4.2 動物：重要な種の移設後の生息状況等に関する調査	8
4.3 植物：重要な種及び重要な群落の移植後の生育状況等に関する調査	11
第5章 環境管理調査（事後調査）の内容を変更した内容及び理由	13
第6章 環境保全措置の実施状況	13

第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

事業者の名称 : 合同会社 NRE-46 インベストメント
代表者の氏名 : 代表社員 日本再生可能エネルギー株式会社
職務執行者 ラウル・リエンダ・セビージャ
主たる事務所の所在地 : 東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 4 号オークラプレステージタワー

第2章 対象事業の名称、種類及び規模

2.1 対象事業の名称

(仮称) 真庭太陽光発電事業

2.2 対象事業の種類

太陽電池発電所の設置の工事の事業

2.3 対象事業の規模

太陽電池発電所出力 : 最大 68,640kW 程度 (交流)、71,639kW 程度 (直流)

太陽電池の単機出力 : 単機出力 630W

太陽電池の数量 : 最大 11.4 万枚程度

第3章 環境管理（事後調査）の概要

3.1 環境管理（事後調査）の目的

本事業は、令和6年8月に「環境影響評価法」に基づく環境影響評価書を発行し、令和8年5月現在では造成・基礎工事を実施しているところである。「岡山県環境影響評価等に関する条例」第34条では、法の対象事業の環境管理（事後調査）の手続きは、同条例の環境管理の手続きを準用することと規定している。

本環境管理報告書は、環境影響評価書に記載した事後調査（環境管理）の結果の概要及び環境保全措置の実施状況についてとりまとめ、同条例の手続きに準じてその内容を報告するものである。

3.2 環境管理（事後調査）の内容

3.2.1 対象事業実施区域の位置

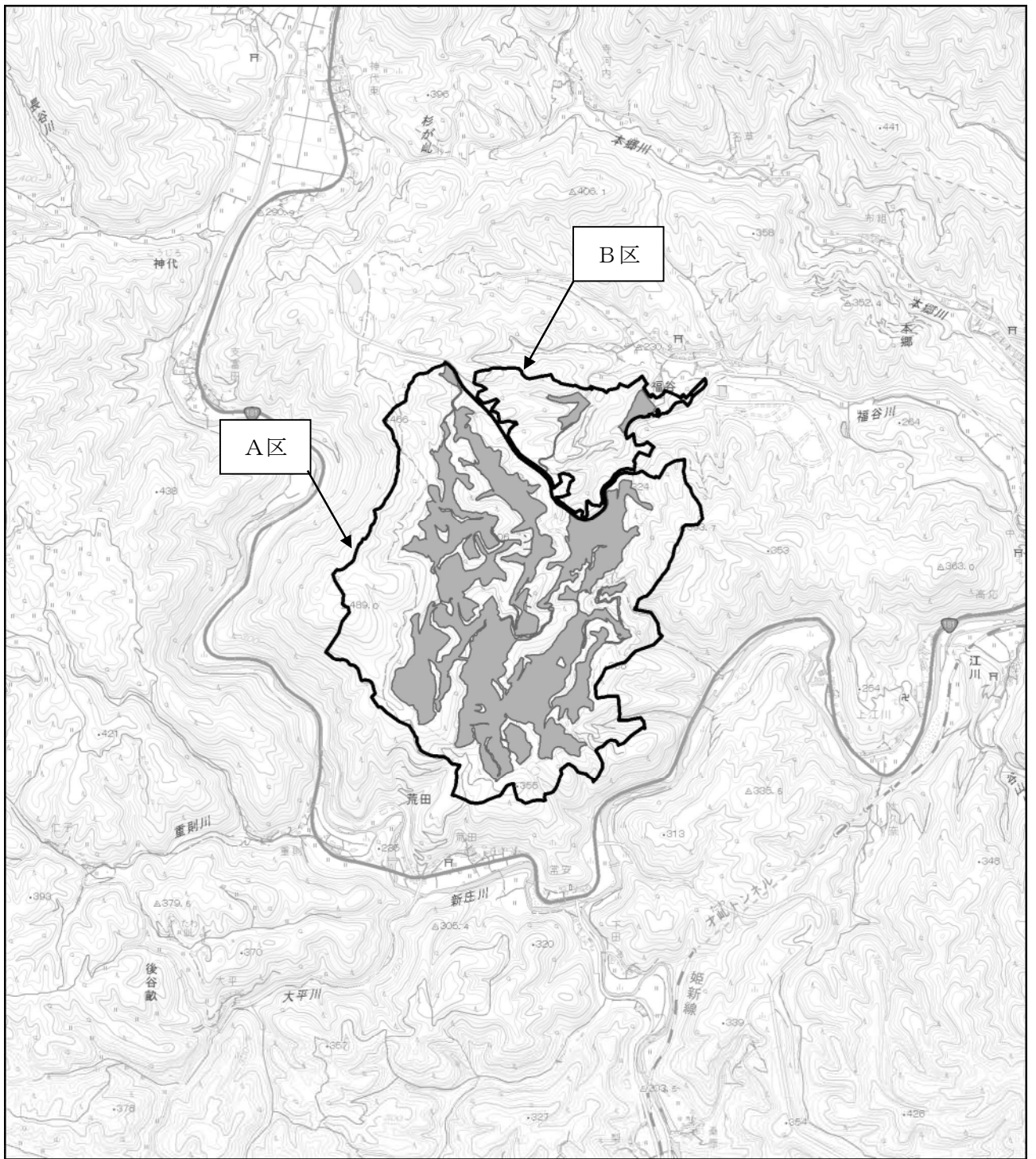
対象事業実施区域の位置は、図 3.1 に示すとおりである。



図 3.1(1) 対象事業実施区域位置図 (広域)



図 3.1 (2) 対象事業実施区域位置図 (真庭市)



凡例

- 対象事業実施区域
- 変更区域



図 3.1 (3)
 対象事業実施区域位置図
 (真庭市福谷地区ほか)

3.2.2 調査の項目、地点数及び数量

環境影響評価書において事後調査（環境管理）を行うこととした項目は下記の3項目である。詳細は表 3.1～表 3.3 に示す。

- ・動物・生態系：サシバの繁殖状況に関する調査
- ・動物：重要な種の移設後の生息状況等に関する調査
- ・植物：重要な種及び重要な群落の移植後の生育状況等に関する調査

表 3.1 事後調査計画（動物・生態系：サシバの繁殖状況に関する調査）

区 分	内 容
事後調査を行うこととした理由	環境保全措置を講じることにより、造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の有在による、重要な種及び生態系への影響は、現時点において実行可能な範囲内で回避、低減が図られているものと評価される。ただし、対象事業実施区域内で営巣が確認されたサシバへの影響については、予測の不確実性の程度が大きいことから、事後調査を実施する。
動物・生態系 調査手法	<p><調査項目> サシバの繁殖状況に関する調査</p> <p><調査地域> 対象事業実施区域及びその周囲</p> <p><調査地点> 対象事業実施区域内のサシバ営巣地付近</p> <p><調査期間> 工事中～稼働後1年目程度までを対象に、繁殖期における繁殖状況に関する調査を実施する。繁殖状況の把握に際しては、抱卵期、巣内育雛期、巣立ち期の3期調査を行うこととする。なお、稼働後の調査継続の判断については、専門家の助言や指導を得て決定するものとする。</p> <p><調査方法> サシバ営巣地付近において、定点観察や林内踏査等により、対象ペアの行動及び繁殖状況を確認する。</p> <p><とりまとめ> 工事前に実施した希少猛禽類調査の結果、及び工事中と稼働後に実施する繁殖状況調査の結果を整理し、繁殖状況を把握する。</p> <p><環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合の対応の方針> 調査結果を踏まえ、専門家の助言や指導を得て、環境影響の状況に応じてさらなる効果的な環境保全措置を講じることとする。</p>
結果の公表の方法	事後調査の結果は、報告書にとりまとめて関係機関へ提出するとともに、事業者のホームページへの掲載により公表する。

表 3.2 事後調査計画（動物：重要な種の移設後の生息状況等に関する調査）

区 分	内 容
事後調査を行うこととした理由	環境保全措置を講じることにより、造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の有存在による、重要な種への影響は、現時点において実行可能な範囲内で回避、低減が図られているものと評価される。ただし、改変区域で確認された重要な種の一部（ヒクイナ、アカハライモリ、モリアオガエル、タバサナエ、コオイムシ、ヒメミズカマキリ、ムラサキトビケラ、オオヒカゲ、クロゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、クビボソコガシラミズムシ、マダラコガシラミズムシ、スジヒラタガムシ、ガムシ、ヨコミゾドロムシ、ミズコハクガイ）については、移設等（移設、環境創出、調整池の植物の移植）の効果に不確実性を伴うことから、事後調査を実施する。
動物 調査手法	<p><調査項目> 重要な種の移設後の生息状況等に関する調査</p> <p><調査地域> 対象事業実施区域</p> <p><調査地点> 重要な種の移設地点、環境創出の実施地点、調整池の植物移植地点</p> <p><調査期間> 工事中～稼働後1年目程度までの、各重要な種の生息状況が確認しやすい時期とする。なお、稼働後の調査継続の判断については、専門家の助言や指導を得て決定するものとする。</p> <p><調査方法> 各調査地点において、重要な種の生息状況を確認する。また、環境の状況（照度、水位、底質の状況、周辺環境）も確認し、必要に応じて環境整備等を実施する。</p> <p><とりまとめ> 工事中及び稼働後における重要な種の生息状況を整理し、定着状況を把握する。</p> <p><環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合の対応の方針> 調査結果を踏まえ、専門家の助言や指導を得て、環境影響の状況に応じてさらなる効果的な環境保全措置を講じることとする。</p>
結果の公表の方法	事後調査の結果は、報告書にとりまとめて関係機関へ提出するとともに、事業者のホームページへの掲載により公表する。

表 3.3 事後調査計画（植物：重要な種及び重要な群落の移植後の生育状況等に関する調査）

区 分	内 容
事後調査を行うこととした理由	環境保全措置を講じることにより、造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の有存在による、重要な種及び重要な群落への影響は、現時点において実行可能な範囲内で回避、低減が図られているものと評価される。ただし、改変区域で確認された重要な種（ヤマトミクリ）及び重要な群落（ヤマトミクリ群落）については、移植の効果に不確実性を伴うことから、事後調査を実施する。
植物 調査手法	<p><調査項目> 重要な種及び重要な群落の移植後の生息状況等に関する調査</p> <p><調査地域> 対象事業実施区域</p> <p><調査地点> 重要な種及び重要な群落の移植地点</p> <p><調査期間> 工事中～稼働後1年目程度までの、重要な種及び重要な群落の生育状況が確認しやすい時期とする。なお、稼働後の調査継続の判断については、専門家の助言や指導を得て決定するものとする。</p> <p><調査方法> 重要な種及び重要な群落の移植地点において、重要な種及び重要な群落の生育状況を確認する。また、環境の状況も確認し、必要に応じて環境整備等を実施する。</p> <p><とりまとめ> 工事中及び稼働後における重要な種及び重要な群落の生育状況を整理し、定着状況を把握する。</p> <p><環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合の対応の方針> 調査結果を踏まえ、専門家の助言や指導を得て、環境影響の状況に応じてさらなる効果的な環境保全措置を講じることとする。</p>
結果の公表の方法	事後調査の結果は、報告書にとりまとめて関係機関へ提出するとともに、事業者のホームページへの掲載により公表する。

第4章 環境管理調査（事後調査）結果

4.1 動物・生態系：サシバの繁殖状況に関する調査

4.1.1 調査の概要

(1) 調査地域

対象事業実施区域及びその周辺を対象とした。

(2) 調査地点

事業着手前に実施した希少猛禽類調査において、対象事業実施区域内で繁殖が確認されているサシバ1ペアを主対象に調査を実施した。

調査にあたっては、既知の営巣地周辺を見渡せる地点に調査員を配置し観察を行った。

(3) 調査数量

サシバの繁殖期にあわせて、以下の数量で調査を実施した。

表 4.1 調査概要（サシバの繁殖状況に関する調査）

調査日	サシバの繁殖ステージ	地点数	調査日数
令和7年5月26日～28日	抱卵期	4地点	3日
令和7年6月25日～27日	巣内育雛期	4地点	3日
令和7年7月9日～11日	巣立ち期	4地点	3日

(4) 調査期間

工事中（工事1年目）の調査として調査を実施した。

4.1.2 調査結果

調査対象としたサシバ1ペアは、抱卵期にあたる5月調査時に、事業着手前の調査で確認されていた営巣地付近で、餌運びやトビ等への追い出し行動が確認され、事業実施区域内での繁殖行動が確認された。6月調査時には、餌運びや巣の防衛行動（他個体への追い出し行動）が確認され、引き続き繁殖行動が確認された。

巣立ち時期にあたる7月調査では、既知営巣木直近で巣立ちした幼鳥が確認され、繁殖成功が確認された。

サシバの営巣地周辺では、調整池の工事が実施されていたが、敏感度の高い抱卵期には、営巣地近傍における工事は実施されず、サシバの工事への忌避行動も確認されなかった。



写真 4.1 サシバの幼鳥（令和7年7月9日撮影）

また、巣内育雛期には、工事用道路の工事が実施されていたが、サシバの工事への忌避行動は確認されなかった。

対象事業実施区域内では、事業着手前と同様、サシバ1ペアが繁殖活動を行い、忌避行動も確認されず繁殖に成功していることから、工事による影響はなかったものと判断された。

4.2 動物：重要な種の移設後の生息状況等に関する調査

4.2.1 調査の概要

(1) 調査対象

環境保全措置として移設を実施した重要な種（ヒクイナ、アカハライモリ、モリアオガエル、タベサナエ、コオイムシ、ヒメミズカマキリ、ムラサキトビケラ、オオヒカゲ、クロゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、クビボソコガシラミズムシ、マダラコガシラミズムシ、スジヒラタガムシ、ガムシ、ヨコミゾドロムシ、ミズコハクガイ）を調査対象種とした。

なお、調査対象種以外の重要な種についても、同様に記録した。

(2) 調査地点

環境保全措置として移設を実施した、重要な種の移設地点、環境創出の実施地点、調整池の植物移植地点を調査対象とした。

(3) 調査実施状況

工事中のモニタリング調査として、春季、夏季の2回調査を実施した。

表 4.2 調査実施状況（重要な種（動物）の移設後の生息状況確認）

調査期間	調査時期	調査日	調査地点
工事中	春季	令和7年5月26日	移植先 a～移植先 e（5箇所）
	夏季	令和7年7月10日	移植先 a～移植先 e（5箇所）

(4) 調査期間

工事中（工事1年目）の調査として調査を実施した。

4.2.2 調査結果

事各調査時における調査地点の状況は写真 4.2 に示すとおりである。



移植先 a



移植先 b



移植先 c



移植先 d



移植先 e

写真 4.2 (1) 調査対象地点の状況（令和7年5月26日撮影）



移設先 a



移設先 b



移設先 c



移設先 d



移設先 e

写真 4.2 (2) 調査対象地点の状況 (令和7年7月10日撮影)

環境保全措置として実施した移設動物の確認状況を表 4.3 に示す。

春季調査では、移設動物のうち、アカハライモリ、モリアオガエル、タベサナエ、コオイムシ属、ムラサキトビケラ、クロゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウを確認した。

夏季調査では、移設を実施した重要な種のうち、アカハライモリ、タベサナエ、コオイムシ属、クロゲンゴロウを確認した。クロゲンゴロウは春季調査時に成虫、夏季調査時に幼虫を確認し、移設先 e で再生産していることが示唆された。

表 4.3 工事中の移植動物の確認状況 (その他の重要種含む)

分類群	種名	移設先					春季	夏季	合計	調査対象種	その他重要種
		a	b	c	d	e					
両生類	アカハライモリ(成体)	3					1	2	3	○	
	アカハライモリ(幼生)			12		23	1	34	35	○	
	モリアオガエル(成体) ^{注1)}					○	○		○	○	
	モリアオガエル(卵塊) ^{注2)}				(32)	(10)	(42)		(42)	○	
昆虫類	タベサナエ(幼虫)					2	1	1	2	○	
	コオイムシ属(幼虫) ^{注3)}			21	11	46	20	58	78	○	
	ムラサキトビケラ(幼虫)					1	1		1	○	
	クロゲンゴロウ(成虫)					1	1		1	○	
	クロゲンゴロウ(幼虫)					1		1	1	○	
	クロゲンゴロウ(死体)				1		1		1	○	
	コガタノゲンゴロウ(成虫)					2	2		2	○	
	ゲンゴロウ属(幼虫) ^{注4)}					2		2	2	○	
貝類	ヒラマキミズマイマイ				15		15		15		○
—	合計	3	0	33	27 (32)	78 (10)	43 (42)	98	141 (42)	—	—

注 1) 「モリアオガエル(成体)」については、鳴き声による確認を○で示した。

注 2) 「モリアオガエル(卵塊)」については、確認した卵塊数を括弧で示した。

注 3) 「コオイムシ属(幼虫)」については、コオイムシまたはオオコオイムシであると推定された。なお、調査時に確認された成虫はオオコオイムシのみで、調査対象種であるコオイムシは確認されなかった。

注 4) 「ゲンゴロウ属(幼虫)」については、クロゲンゴロウまたはコガタノゲンゴロウであると推定された。なお、両種とも現地で確認されている。



アカハライモリ(成体)



モリアオガエル(卵塊)



コオイムシ属(幼虫)



タバサナエ(幼虫)



ムラサキトビケラ(幼虫)



クロゲンゴロウ(成虫)

写真 4.3 (1) 確認された調査対象種 (令和7年5月26日撮影)



アカハライモリ



タバサナエ



コオイムシ属(幼虫)



クロゲンゴロウ(幼虫)

写真 4.3 (2) 確認された調査対象種 (令和7年7月10日撮影)

移設を行った重要種のうち、両生類のアカハライモリ、モリアオガエルの生息が確認され、幼生が確認されるなど、定着・再生産しているのが確認された。また、昆虫類は、タバサナエ、コオイムシ属、ムラサキトビケラ、クロゲンゴロウの幼虫が確認されており、定着・再生産しているのが確認された。

4.3 植物：重要な種及び重要な群落の移植後の生育状況等に関する調査

4.3.1 調査の概要

(1) 調査対象

環境保全措置として移植を実施した重要な種（ヤマトミクリ）の他、移植を実施した種（クログワイ、ミゾソバ、セリ、スゲ属等）を調査対象とした。なお、調査対象種以外の重要な種についても、同様に記録した。

(2) 調査地点

環境保全措置として移植を実施した、植物移植地点を調査対象とした。

(3) 調査実施状況

工事中のモニタリング調査として、春季、夏季の2回調査を実施した。

表 4.4 調査実施状況（重要な種及び重要な群落の移植後の生育状況確認）

調査期間	調査時期	調査日	調査地点
工事中	春季	令和7年5月28日	移植先（ビオトープ設置箇所）
	夏季	令和7年7月11日	移植先（ビオトープ設置箇所）

(4) 調査期間

工事中（工事1年目）の調査として調査を実施した。

4.3.2 調査結果

春季調査の結果、移植地におけるヤマトミクリの生育状況は良好で、移植地のほぼ全域で生育が確認された。生育地の環境も良好で、移植地の水位は25cm～35cmになるように管理され、余水は排水管より排出されていた。

夏季調査では、移植を実施した重要な種であるヤマトミクリを確認したほか、移植を実施したミゾソバ、セリ、スゲ属（カサスゲ）を確認した。ヤマトミクリは開花・結実しており、生育状況は良好であった。移植地は、移植した種のほか、シカクイやアオコウガイゼキショウなどの湿地性の草本種が生育しており、良好な環境が保たれていた。



ヤマトミクリ



ミゾソバ



セリ

写真 4.4 調査対象種の確認状況（令和7年7月11日撮影）



写真 4.5 移植地のヤマトミクリの生育状況（令和7年5月28日撮影）



写真 4.6 移植地のヤマトミクリの生育状況（令和7年7月11日撮影）

第5章 環境管理調査（事後調査）の内容を変更した内容及び理由

環境管理調査（事後調査）の内容を変更した内容はない。

第6章 環境保全措置の実施状況

環境影響評価書に記載した環境保全措置を表 6.1 に示し、同表に令和 7 年度の該当項目を併記した。令和 7 年度における環境保全措置の実施状況を表 6.2 に示す。

表 6.1(1) 環境保全措置と令和7年度対象項目

環境要因	環境要素	番号	環境保全措置	令和7年度対象	資料番号	
工事の実施	工事用資材等の搬出入	粉じん等	1	工事関係車両の通勤車両については、乗り合いの徹底等により、工事関係車両台数を低減することで、粉じん等の影響を低減する。	○	資料1
			2	工事工程の調整により工事関係車両台数の平準化を図り、建設工事の最盛期の台数を低減することで、粉じん等の影響を低減する。	○	資料2
			3	工事に伴い発生した土は、盛土や敷均しなどに使用することで、場内で土工量のバランスを取り、土砂の搬出入に伴う工事関係車両を発生させないことで、粉じん等の影響を低減する。	○	資料3
			4	工事関係車両については、適正な積載量及び走行速度を維持し、必要に応じシート被覆等の飛散防止対策を講じる。ことで、粉じんの影響を低減する。	○	資料4
			5	工事関係車両の出入り口にはタイヤ洗浄施設を設け、走行ルート上での粉じんの飛散を抑制することで、粉じん等の影響を低減する。	○	資料5
			6	対象事業実施区域周辺の道路は必要に応じて散水することで、粉じん等の影響を低減する。	○	資料6
	建設機械の稼働	粉じん等	7	切土、盛土及び掘削等の土工を行う際は、適宜整地、転圧、散水等を行い、土砂粉じん等の飛散を抑制することで、粉じん等の影響を低減する。	○	資料7
	工事用資材等の搬出入	騒音	8	工事関係者の通勤車両については、乗り合いの徹底等により、工事関係車両台数を低減することで、騒音の影響を低減する。	○	資料1
			9	工事工程の調整により工事関係車両台数の平準化を図り、建設工事の最盛期の台数を低減することで、騒音の影響を低減する。	○	資料2
			10	工事に伴い発生した土は、盛土や敷均しなどに使用することで、場内で土工量のバランスを取り、土砂の搬出入に伴う工事関係車両を発生させないことで、騒音の影響を低減する。	○	資料3
	建設機械の稼働	騒音	11	建設機械の点検・整備を十分に行い、性能を維持することで、騒音の影響を低減する。	○	資料8
			12	工事に使用する建設機械は、可能な限り低騒音型の建設機械を使用し、低騒音となる工法を採用することで、騒音の影響を低減する。	○	資料9
			13	大きな騒音が発生する建設機械の使用時期が集中しないよう、工事工程の調整により作業の平準化を図ることで、騒音の影響を低減する。	○	資料10
			14	調整池Cを工事する際には、敷地境界に防音壁を設置することで、騒音の影響を低減する。	○	資料11
	工事用資材等の搬出入	振動	15	工事関係者の通勤車両については、乗り合いの徹底等により、工事関係車両台数を低減することで、振動の影響を低減する。	○	資料1
			16	工事工程の調整により工事関係車両台数の平準化を図り、建設工事の最盛期の台数を低減することで、振動の影響を低減する。	○	資料2
			17	工事に伴い発生した土は、盛土や敷均しに使用することで、場内で土工量のバランスを取り、土砂の搬出入に伴う工事関係車両を発生させないことで、振動の影響を低減する。	○	資料3
			18	工事関係車両の適正走行を工事関係者に徹底することで、振動の影響を低減する。	○	資料4

表 6.1(2) 環境保全措置と令和7年度対象項目

環境要因		環境要素	番号	環境保全措置	令和7年度対象	資料番号
工事の実施	建設機械の稼働	振動	19	建設機械の点検・整備を十分に行い、性能を維持することで、振動の影響を低減する。	○	資料 8
			20	工事に使用する建設機械は、可能な限り低振動型の建設機械を使用し、低振動となる工法を採用することで、振動の影響を低減する。	○	資料 12
			21	大きな振動が発生する建設機械の使用時期が集中しないよう、工事工程工事工程の調整により作業の平準化を図ることで、振動の影響を低減する。	○	資料 10
	造成等の施工による一時的な影響	水の濁り	22	造成工事においては、開発による流出水の増加に対処するため側溝及び調整池工事を先行し、降雨時における濁水の流出を低減することで、水の濁りを低減する。	○	資料 13
			23	切土、盛土法面等の緑化を速やかに実施し、降雨時における裸地からの濁水の流出を低減することで、水の濁りを低減する。	○	資料 14
			24	必要に応じて、フシカゴ及び土留め効果として、しがら柵を設置して、降雨時における土砂の流出を低減することで、水の濁りを低減する。なお、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。	○	資料 15
			25	切土、盛土法面には速やかに転圧を実施し、定期的な道路維持管理の際にも適宜、転圧を行い、降雨時における濁水の流出を低減することで、水の濁りを低減する。	○	資料 16
			26	定期的に見回りをを行い、法面及び調整池の適切な維持管理に努めることで、水の濁りを低減する。	○	資料 17
			27	工事中は、コンクリート養生や粉じん飛散防止のための散水を行う程度とし、河川の水質に影響を与える大規模な散水等は行わないことで、水の濁りを低減する。	○	資料 18
			28	工事期間中の平水時及び降雨時に調整池排水口で浮遊物質量濃度のモニタリング調査を行い、影響が大きい場合には、変更区域内への仮設沈砂池の設置や調整池の浚渫などの対策を講じることで、水の濁りを低減する。	○	資料 19
	造成等の施工による一時的な影響	重要な種及び注目すべき生息地(海域に生息するものを除く。)	29	コキクガシラコウモリの越冬場所である隧道跡及び周辺の樹林環境について造成計画の見直しにより、直接改変を回避した。	○	資料 20
			30	造成計画の検討にあたっては、できる限り造成済みであるフェアウェイを活用し、樹林の改変面積の最小化に努めた。詳細設計にあたっては、地形や既存道路等を十分考慮し、改変面積のさらなる縮小化に努めることで、動物への影響を低減する。	○	資料 21
31			調整池の適正な管理を行う。また、必要に応じて、降雨時における土砂の流出による濁水の発生対策として、フシカゴ及び土留め効果としてしがら柵を設置する。さらに切土、盛土法面には速やかに転圧を実施し、定期的な道路維持管理の際にも適宜、転圧を行うことで、動物への影響を低減する。	○	資料 22	
32			切土、盛土法面等の種子吹付けを速やかに実施し、早期緑化を行い、降雨時における裸地からの濁水の流出を低減する。また、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。なお、必要に応じて、不織布等を用いた法面保護シートを設置することで、濁水の流出を低減する。	○	資料 23	

表 6.1 (3) 環境保全措置と令和 7 年度対象項目

環境要因	環境要素	番号	環境保全措置	令和 7 年度対象	資料番号	
工事の実施	造成等の施工による一時的な影響	33	工事にあたっては、可能な限り低騒音型の建設機械を使用することで、動物への影響を低減する。	○	資料 9	
		34	工事関係車両の走行速度等の注意喚起を行うことで、動物への影響を低減する。	○	資料 24	
		35	工事関係者の改変区域外への必要以上の立ち入りを制限することで、動物への影響を低減する。	○	資料 25	
		36	回避・低減を優先して検討したが、計画上やむを得ない場合には、対象事業実施区域において、生育適地となるまとまった湿地環境を環境創出した場所へ移植するといった方策を行い、個体群や群落の保全に努める。移植や環境創出を検討する際には、方法及び移設先の選定等について専門家等の助言を得ることで、植物への影響を低減する。造成計画の見直しにより、ナツアサドリ生育場所の直接改変を回避した。	○	資料 26	
		37	造成計画の検討にあたっては、できる限り造成済みであるフェアウェイを活用し、樹林の改変面積の最小化に努めたことで、植物への影響を低減する。	○	資料 21	
		38	調整池の適正な管理を行う。また、必要に応じて、降雨時における土砂の流出による濁水の発生対策として、フンカゴ及び土留め効果としてしごら柵を設置する。さらに切土、盛土法面には速やかに転圧を実施し、定期的な道路維持管理の際にも適宜、転圧を行うことで、植物への影響を低減する。	○	資料 22	
		39	切土、盛土法面等の種子吹付けを速やかに実施し、早期緑化を行い、降雨時における裸地からの濁水の流出を低減する。また、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。なお、必要に応じて、不織布等を用いた法面保護シートを設置することで、植物への影響を低減する。	○	資料 23	
		40	工事関係者の改変区域外への必要以上の立ち入りを制限することで、植物への影響を低減する。	○	資料 25	
	造成等の施工による一時的な影響	産業廃棄物	41	現況の樹林をできる限り残存させ、伐採量の低減に努めることで、環境負荷を低減する。	○	資料 27
			42	伐採木はチップ化等により再生利用する。また、太陽光パネル、変電機器にかかる大型機器は可能な限り工場組立とし、大型機器の梱包材等の廃棄物の発生量を低減するとともに、その有効活用に努めることで、環境負荷を低減する。	○	資料 28
43			工事の実施による産業廃棄物は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成 12 年法律 104 号)に基づき建設資材の再資源化等に努め、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和 45 年法律第 137 号)に基づき、適切に処理することで、環境負荷を低減する。	○	資料 29	
造成等の施工による一時的な影響	残土	44	造成計画の見直しを行い、地形や既存道路等を十分考慮して改変面積の縮小化に努め、残土の発生を抑える。また、削工事に伴う発生土は、埋め戻し、盛土及び敷き均しに利用し、残土の発生を抑えることで、残土発生量を低減する。	○	資料 30	
工사용資材等の搬出入	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	45	工事関係者の通勤車両については、乗り合いの徹底等により、工事関係車両台数を低減することで、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減する。	○	資料 1	

表 6.1(4) 環境保全措置と令和7年度対象項目

環境要因		環境要素	番号	環境保全措置	令和7年度対象	資料番号
工事の実施	工事用資材等の搬出入	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	47	工事に伴い発生した土は、盛土や敷均しなどに使用し、場内で土工量のバランスを取り、土砂の搬出入に伴う工事関係車両を発生させないことで、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減する。	○	資料3
			48	工事関係車両の適正走行、アイドリングストップ、空ぶかしの防止を工事関係者に徹底することで、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減する。	○	資料31
	共通	共通	49	環境保全措置の内容について、工事関係者に周知徹底することで、環境保全措置をより確実に実行する。	○	資料32
施設の存在	施設の稼働	騒音	50	変電所等設備のメンテナンスを適切に実施し、意図しない異常音の発生を抑制することで、騒音の影響を低減する。	—	—
			51	パワーコンディショナー等の工作物に必要な応じて遮音カバーを取り付けるなど、防音性能を高めることで、騒音の影響を低減する。	—	—
	施設の存在	水の濁り	52	定期的に見回りを行い、法面及び調整池の適切な維持管理に努めることで水の濁りを低減する。	—	—
			53	供用開始後の平水時及び降雨時に調整池排水口で浮遊物質量濃度のモニタリング調査を行い、影響が大きい場合には、調整池の浚渫などの対策を講じることで、水の濁りを低減する。	—	—
	施設の存在	土地の安定性	54	段切りの施工、法面への小段を設置し、土地の安定性への影響を低減する。	—	—
			55	切土・盛土法面への種子吹付による早期緑化を行い、土地の安定性への影響を低減する。なお、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。	—	—
	施設の存在	反射光	56	太陽光パネルは、低反射型パネルを採用し、反射光による影響を低減する。	—	—
			57	変更区域の周囲に樹林を配置し、周囲から太陽光パネルが視認しにくいようにすることで、反射光による影響を低減する。	—	—
	地形改変及び施設の存在	重要な種及び注目すべき生息地(海域に生息するものを除く。)	58	方法書段階で計画していたB区への太陽光パネルの設置を行わないこと、A区への効率的な太陽光パネルの設置により変更面積の最小化に努めたことで、動物への影響を回避する。	—	—
			59	詳細設計にあたっては、地形や既存道路等を十分考慮し、変更面積のさらなる縮小化に努めた。また、樹林をできる限り残存させるとともに、造成により生じた裸地部に造成森林を設けることで、動物への影響を低減する。	—	—
			60	回避・低減を優先して検討したが、計画上やむを得ない場合には、対象事業実施区域において、生息適地となる湿地環境や水辺環境を環境創出した場所または現在の生息地と同様な環境へ移設するといった方策を行い、個体群の保全に努めることで、動物への影響を低減する。移設や環境創出を検討する際には、方法及び移設先の選定等について専門家等の助言を得る。	—	—
61			既存の調整池に生育する植物については、一旦移動させた上で、浚渫後に現在の生育地へ移植を実施し、重要な種の生息環境の保全に努めることで、動物への影響を低減する。	—	—	

表 6.1 (5) 環境保全措置と令和 7 年度対象項目

環境要因		環境要素	番号	環境保全措置	令和 7 年度対象	資料番号
施設の存在	地形改変及び施設 の存在	重要な種及び注目すべき生息地(海域に生息するものを除く。)	62	樹木の伐採の縮小化に努め、造成により生じた裸地部は、種子吹付け又は植樹による緑化を行い、植生の早期回復を実施した後、自然遷移に委ねた現状の植生回復に努めることで、動物への影響を低減する。なお、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。	—	—
			63	小動物が落下後に這い出し可能な U 字溝を採用すること、フェンス下部の空間を開けることにより、小動物の移動経路を確保することで、動物への影響を低減する。	—	—
			64	方法書段階で計画していた B 区への太陽光パネルの設置を行わないこと、A 区への効率的な太陽光パネルの設置により改変面積の最小化に努めたことで、植物への影響を回避する。	—	—
			65	回避・低減を優先して検討したが、計画上やむを得ない場合には、対象事業実施区域周辺において、現在の生育地と同様な環境への移植を行い、個体群の保全に努めることで、植物への影響を低減する。なお、移植を検討する際には、方法及び移植先の選定等について専門家の助言を得る。	—	—
			66	樹木の伐採の縮小化に努め、造成により生じた裸地部は、種子吹付け又は植樹による緑化を行い、植生の早期回復を実施した後、自然遷移に委ねた現状の植生回復に努めることで、植物への影響を低減する。	—	—
		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	67	太陽光パネルは、低反射型パネルを採用し、反射光による影響を低減することで、景観への影響を低減する。	—	—
			68	樹木の伐採を限定し、改変面積の縮小化を図るとともに、法面等の緑化を行うことで修景を図ることで、景観への影響を低減する。なお、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。	—	—
			69	改変区域の周囲に樹林を配置し、周囲から太陽光パネル等の設備や改変区域が視認されにくいようにすることで、景観への影響を低減する。	—	—
		主要な人と自然との触れ合いの活動の場	70	構内配電線については可能な限り埋設とすることで、景観への影響を低減する。	—	—
			71	設備のメンテナンスを適切に実施し、意図しない異常音の発生を抑制することで、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減する。	—	—
	72		太陽光パネルは、低反射型パネルを採用し、反射光による影響を低減すること、改変区域の周囲に樹林を配置し、周囲から太陽光パネルが視認しにくいようにすることにより、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減する。	—	—	
			73	樹木の伐採を限定し、改変面積の縮小化を図るとともに、法面等の緑化を行うこと、構内配電線については可能な限り埋設とすることで修景を図り、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減する。	—	—

表 6.1(6) 環境保全措置と令和7年度対象項目

環境要因		環境要素	番号	環境保全措置	令和7年度対象	資料番号
施設	地形改変及び施設	産業廃棄物	74	太陽光パネル等の撤去・廃棄に伴う廃棄物は、分別を徹底し、再利用及び再資源化の促進を図るとともに、再利用及び再資源化できないものは専門業者に委託し、適正に処理する。また、撤去する太陽光パネル等の設備は、「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン(第二版)」(平成30年、環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室)に基づき適正に処理することで、環境負荷を低減する。	—	—
工事の実施 施設	造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設	地域を特徴づける生態系	75	造成計画の検討にあたっては、重要な種であるサシバの営巣中心域及び高利用域の改変を可能な範囲で回避した。また、方法書段階で計画していたB区への太陽光パネルの設置を行わないこと、A区への効率的な太陽光パネルの設置により改変面積の最小化に努めたことで、生態系への影響を回避する。	○	資料33
			76	造成計画の検討にあたっては、できる限り造成済みであるフェアウェイを活用し、樹林の改変面積の最小化に努めた。また、詳細設計にあたっては、地形や既存道路等を十分考慮し、改変面積のさらなる縮小化に努めたことで、生態系への影響を低減する。	○	資料21
			77	調整池の適正な管理を行う。また、必要に応じて、降雨時における土砂の流出による濁水の発生対策として、フンカゴ及び土留め効果としてしがら柵を設置する。さらに切土、盛土法面には速やかに転圧を実施し、定期的な道路維持管理の際にも適宜、転圧を行うことで、生態系への影響を低減する。	○	資料22
			78	切土、盛土法面等の種子吹付けを速やかに実施し、早期緑化を行い、降雨時における裸地からの濁水の流出を低減する。また、なお、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。なお、必要に応じて、不織布等を用いた法面保護シートを設置することで、生態系への影響を低減する。	○	資料23
			79	工事工程を調整し、サシバの繁殖期における営巣中心域に隣接する工区での工事を回避することで、生態系への影響を低減する。	○	資料34
			80	工事に当たっては、可能な限り低騒音型の建設機械を使用することで、生態系への影響を低減する。	○	資料9
			81	工事関係車両の走行速度等の注意喚起を行うことで、生態系への影響を低減する。	○	資料24
			82	工事関係者の改変区域外への必要以上の立ち入りを制限することで、生態系への影響を低減する。	○	資料25
			83	樹木の伐採の縮小化に努め、造成により生じた裸地部は、種子吹付け又は植樹による緑化を行い、植生の早期回復を実施した後、自然遷移に委ねた現状の植生回復に努めることで、生態系への影響を低減する。なお、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。	○	資料35
			84	環境保全措置の内容について、工事関係者に周知徹底することで、環境保全措置をより確実に実行する。	○	資料32

表 6.2(1) 令和7年度に実施した環境保全措置の実施状況

資料	環境保全措置	実施状況	実施記録(写真・文章)																																																																																																																																																																																																																		
1	工事関係車両の通勤車両については、乗り合いの徹底等により、工事関係車両台数を低減することで、粉じん等の影響、騒音の影響、振動の影響、人と自然との触れ合い活動の場への影響を低減する。	乗り合いの徹底により、通勤車両台数を低減させ、粉じん等の影響及び騒音の影響、振動の影響、人と自然との触れ合い活動の場への影響を低減した。 (実施記録：通勤車両を指定し、車両台数を低減させた。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>車台番号</th> <th>乗員番号</th> <th>車種</th> <th>乗務員</th> <th>乗務員氏名</th> <th>乗務員所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0581721260</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>H430A5015</td><td>7月9日</td><td>2,020</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>H430A5019</td><td>7月9日</td><td>2,020</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>H130A5009</td><td>10/23</td><td>6,150</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>4</td><td>H130A5010</td><td>10/23</td><td>10,370</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5</td><td>H430A5009</td><td>7/9</td><td>3,100</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>6</td><td>H130A5002</td><td>7/9</td><td>6,150</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>7</td><td>H430A5016</td><td>7/9</td><td>3,100</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>8</td><td>H430A5008</td><td>7/9</td><td>2,020</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>9</td><td>H130A5005</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>10</td><td>H130A5004</td><td>7/9</td><td>6,150</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>11</td><td>H130A5001</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>12</td><td>H430A5004</td><td>7月9日</td><td>2,880</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>13</td><td>H430A5009</td><td>7月9日</td><td>2,880</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>14</td><td>H430A5018</td><td>7月9日</td><td>5,000</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>15</td><td>H102A5000</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td>16</td><td>H130A5003</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td>17</td><td>H130A5008</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td>18</td><td>H130A5001</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td>19</td><td>H530A5002</td><td>10/23</td><td>4,770</td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td>20</td><td>H130A5012</td><td>7/9</td><td>4,180</td><td></td></tr> <tr><td>21</td><td>21</td><td>H130A5003</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>22</td><td>22</td><td>H130A5008</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>23</td><td>23</td><td>H130A5008</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>24</td><td>24</td><td>H130A5004</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>25</td><td>25</td><td>H130A5009</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> <tr><td>26</td><td>26</td><td>H130A5001</td><td>7/9</td><td>6,110</td><td></td></tr> </tbody> </table>	車台番号	乗員番号	車種	乗務員	乗務員氏名	乗務員所属	0581721260						1	1	H430A5015	7月9日	2,020		2	2	H430A5019	7月9日	2,020		3	3	H130A5009	10/23	6,150		4	4	H130A5010	10/23	10,370		5	5	H430A5009	7/9	3,100		6	6	H130A5002	7/9	6,150		7	7	H430A5016	7/9	3,100		8	8	H430A5008	7/9	2,020		9	9	H130A5005	7/9	6,110		10	10	H130A5004	7/9	6,150		11	11	H130A5001	7/9	6,110		12	12	H430A5004	7月9日	2,880		13	13	H430A5009	7月9日	2,880		14	14	H430A5018	7月9日	5,000		15	15	H102A5000	7/9	6,110		16	16	H130A5003	7/9	6,110		17	17	H130A5008	7/9	6,110		18	18	H130A5001	7/9	6,110		19	19	H530A5002	10/23	4,770		20	20	H130A5012	7/9	4,180		21	21	H130A5003	7/9	6,110		22	22	H130A5008	7/9	6,110		23	23	H130A5008	7/9	6,110		24	24	H130A5004	7/9	6,110		25	25	H130A5009	7/9	6,110		26	26	H130A5001	7/9	6,110																																											
車台番号	乗員番号	車種	乗務員	乗務員氏名	乗務員所属																																																																																																																																																																																																																
0581721260																																																																																																																																																																																																																					
1	1	H430A5015	7月9日	2,020																																																																																																																																																																																																																	
2	2	H430A5019	7月9日	2,020																																																																																																																																																																																																																	
3	3	H130A5009	10/23	6,150																																																																																																																																																																																																																	
4	4	H130A5010	10/23	10,370																																																																																																																																																																																																																	
5	5	H430A5009	7/9	3,100																																																																																																																																																																																																																	
6	6	H130A5002	7/9	6,150																																																																																																																																																																																																																	
7	7	H430A5016	7/9	3,100																																																																																																																																																																																																																	
8	8	H430A5008	7/9	2,020																																																																																																																																																																																																																	
9	9	H130A5005	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
10	10	H130A5004	7/9	6,150																																																																																																																																																																																																																	
11	11	H130A5001	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
12	12	H430A5004	7月9日	2,880																																																																																																																																																																																																																	
13	13	H430A5009	7月9日	2,880																																																																																																																																																																																																																	
14	14	H430A5018	7月9日	5,000																																																																																																																																																																																																																	
15	15	H102A5000	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
16	16	H130A5003	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
17	17	H130A5008	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
18	18	H130A5001	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
19	19	H530A5002	10/23	4,770																																																																																																																																																																																																																	
20	20	H130A5012	7/9	4,180																																																																																																																																																																																																																	
21	21	H130A5003	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
22	22	H130A5008	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
23	23	H130A5008	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
24	24	H130A5004	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
25	25	H130A5009	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
26	26	H130A5001	7/9	6,110																																																																																																																																																																																																																	
2	工事工程の調整により工事関係車両台数の平準化を図り、建設工事の最盛期の台数を低減することで、粉じん等の影響、騒音の影響、振動の影響を低減する。	工事工程を調整し、工事関係車両台数の平準化を図り、建設工事の最盛期の台数を低減することにより、粉じん等の影響、騒音の影響、振動の影響を低減した。 (実施記録：導入する建設機械を適切に選定し、最盛期の台数の低減を図った。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機台番号</th> <th>機台名</th> <th>機台種別</th> <th>台数</th> <th>稼働日数</th> <th>稼働時間</th> <th>稼働率</th> <th>稼働状況</th> <th>稼働状況</th> <th>稼働状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>31</td><td>110-0001</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>32</td><td>110-0002</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>33</td><td>110-0003</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>34</td><td>110-0004</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>35</td><td>110-0005</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>36</td><td>110-0006</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>37</td><td>110-0007</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>38</td><td>110-0008</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>39</td><td>110-0009</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>40</td><td>110-0010</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>41</td><td>110-0011</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>42</td><td>110-0012</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>43</td><td>110-0013</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>44</td><td>110-0014</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>45</td><td>110-0015</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>46</td><td>110-0016</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>47</td><td>110-0017</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>48</td><td>110-0018</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>49</td><td>110-0019</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> <tr><td>50</td><td>110-0020</td><td>コンクリートポンプ車</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>100%</td><td>稼働</td><td>稼働</td><td>稼働</td></tr> </tbody> </table>	機台番号	機台名	機台種別	台数	稼働日数	稼働時間	稼働率	稼働状況	稼働状況	稼働状況	31	110-0001	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	32	110-0002	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	33	110-0003	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	34	110-0004	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	35	110-0005	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	36	110-0006	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	37	110-0007	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	38	110-0008	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	39	110-0009	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	40	110-0010	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	41	110-0011	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	42	110-0012	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	43	110-0013	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	44	110-0014	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	45	110-0015	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	46	110-0016	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	47	110-0017	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	48	110-0018	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	49	110-0019	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働	50	110-0020	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働
機台番号	機台名	機台種別	台数	稼働日数	稼働時間	稼働率	稼働状況	稼働状況	稼働状況																																																																																																																																																																																																												
31	110-0001	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
32	110-0002	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
33	110-0003	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
34	110-0004	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
35	110-0005	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
36	110-0006	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
37	110-0007	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
38	110-0008	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
39	110-0009	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
40	110-0010	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
41	110-0011	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
42	110-0012	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
43	110-0013	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
44	110-0014	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
45	110-0015	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
46	110-0016	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
47	110-0017	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
48	110-0018	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
49	110-0019	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
50	110-0020	コンクリートポンプ車	1	1	1	100%	稼働	稼働	稼働																																																																																																																																																																																																												
3	工事に伴い発生した土は、盛土や敷均しなどに使用することで、場内で土工量のバランスを取り、土砂の搬出入に伴う工事関係車両を発生させないことで、粉じん等の影響、騒音の影響、振動の影響、人と自然との触れ合い活動の場への影響を低減する。	発生土は場内での盛土に活用して工事関係車両台数の低減を図り、粉じん等の発生、騒音の影響、振動の影響、人と自然との触れ合い活動の場への影響を低減した。 (実施記録：切土・盛土のバランスをとり、工事関係車両台数の低減を図った。)																																																																																																																																																																																																																			
4	工事関係車両については、適正な積載量及び走行速度を維持し、必要に応じシート被覆等の飛散防止対策を講じる。ことで、粉じんの影響、振動の影響を低減する。	工事関係車両は適正な積載量及び走行速度を維持し、必要に応じシート被覆等の飛散防止対策を講じることにより粉じんの影響、振動の影響を低減した。 (実施記録：場内の走行速度を制限し、粉じんの発生抑制を行った。)																																																																																																																																																																																																																			
5	工事関係車両の出入り口にはタイヤ洗浄施設を設け、走行ルート上での粉じんの飛散を抑制することで、粉じん等の影響を低減する。	工事区域の出入り口にはタイヤ洗浄施設を設け、走行ルート上での粉じんの飛散を抑制することで、粉じん等の影響を低減した。 (実施記録：工事現場出入口には洗浄施設を設置し、場外道路の泥汚れを防止し、粉じん等の発生を抑制した。)																																																																																																																																																																																																																			

表 6.2(2) 令和7年度に実施した環境保全措置の実施状況





資料	環境保全措置	実施状況	実施記録(写真・文章)																																																																																																																																
6	対象事業実施区域周辺の道路は必要に応じて散水することで、粉じん等の影響を低減する。	対象事業実施区域周辺の道路は必要に応じて散水し、粉じん等の影響を低減した。 (実施記録：周辺道路の散水状況)																																																																																																																																	
7	切土、盛土及び掘削等の土工を行う際は、適宜整地、転圧、散水等を行い、土砂粉じん等の飛散を抑制することで、粉じん等の影響を低減する。	土工を行う際は、適宜整地、転圧、散水等を行い、土砂粉じん等の飛散を抑制することで、粉じん等の影響を低減した。 (実施記録：土工部の転圧)																																																																																																																																	
8	建設機械の点検・整備を十分に行い、性能を維持することで、騒音の影響、振動の影響を低減する。	建設機械の点検・整備を十分に行い、性能を維持することで、騒音の影響、振動の影響を低減した。 (実施記録：導入する建設機械は適切に維持管理し、点検・整備を定期的実施した。)	<p>【導入機械一覧】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>機 種 名 (Machine name)</th> <th>機 種 (Category)</th> <th>台数 (Number)</th> <th>騒音工種 (Type of work)</th> <th>低騒音 対応機</th> <th>低騒音 対策機</th> <th>クレーン 機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>3</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>4</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>5</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>6</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>7</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>8</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>9</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>10</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>11</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>12</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>13</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>14</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>15</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	番号	機 種 名 (Machine name)	機 種 (Category)	台数 (Number)	騒音工種 (Type of work)	低騒音 対応機	低騒音 対策機	クレーン 機	1	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	2	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	3	バックホウ	バックホウ	3	掘削	○	○	○	4	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	5	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	6	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	7	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	8	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	9	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	10	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	11	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	12	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	13	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	14	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	15	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○
番号	機 種 名 (Machine name)	機 種 (Category)	台数 (Number)	騒音工種 (Type of work)	低騒音 対応機	低騒音 対策機	クレーン 機																																																																																																																												
1	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
2	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
3	バックホウ	バックホウ	3	掘削	○	○	○																																																																																																																												
4	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
5	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
6	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
7	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
8	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
9	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
10	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
11	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
12	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
13	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
14	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
15	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
9	工事に使用する建設機械は、可能な限り低騒音型の建設機械を使用し、低騒音となる工法を採用することで、騒音の影響、動物への影響、生態系への影響を低減する。	建設機械は、低騒音型の建設機械を使用し、低騒音となる工法を採用することで、騒音の影響、動物への影響、生態系への影響を低減した。 (実施記録：建設機械は、低騒音型・排ガス対策型を選定した。)																																																																																																																																	
10	大きな騒音、振動が発生する建設機械の使用時期が集中しないよう、工事工程の調整により作業の平準化を図ることで、騒音の影響、振動の影響を低減する。	工事工程の調整により作業の平準化を図ることで、騒音の影響、振動の影響を低減した。 (実施記録：導入する建設機械を適切に選定し、最盛期の台数の低減を図った。)	<p>【導入機械一覧】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>機 種 名 (Machine name)</th> <th>機 種 (Category)</th> <th>台数 (Number)</th> <th>騒音工種 (Type of work)</th> <th>低騒音 対応機</th> <th>低騒音 対策機</th> <th>クレーン 機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>2</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>3</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>3</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>4</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>5</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>6</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>7</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>8</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>9</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>10</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>11</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>12</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>13</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>14</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>1</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>15</td><td>バックホウ</td><td>バックホウ</td><td>2</td><td>掘削</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	番号	機 種 名 (Machine name)	機 種 (Category)	台数 (Number)	騒音工種 (Type of work)	低騒音 対応機	低騒音 対策機	クレーン 機	1	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	2	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	3	バックホウ	バックホウ	3	掘削	○	○	○	4	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	5	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	6	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	7	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	8	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	9	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○	10	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	11	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	12	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	13	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	14	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○	15	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○
番号	機 種 名 (Machine name)	機 種 (Category)	台数 (Number)	騒音工種 (Type of work)	低騒音 対応機	低騒音 対策機	クレーン 機																																																																																																																												
1	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
2	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
3	バックホウ	バックホウ	3	掘削	○	○	○																																																																																																																												
4	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
5	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
6	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
7	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
8	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
9	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
10	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
11	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
12	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
13	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
14	バックホウ	バックホウ	1	掘削	○	○	○																																																																																																																												
15	バックホウ	バックホウ	2	掘削	○	○	○																																																																																																																												
11	調整池 C を工事する際には、敷地境界に防音壁を設置することで、騒音の影響を低減する。	調整池 C の工事の際には、敷地境界に防音壁を設置し、騒音の影響を低減した。 (実施記録：防音シートの設置)																																																																																																																																	

表 6.2(3) 令和7年度に実施した環境保全措置の実施状況

資料	環境保全措置	実施状況	実施記録(写真・文章)																								
12	工事に使用する建設機械は、可能な限り低振動型の建設機械を使用し、低振動となる工法を採用することで、振動の影響を低減する。	建設機械は、低振動型の建設機械を使用し、低振動となる工法を採用することで、振動の影響を低減した。 (実施記録：建設機械は低振動型を優先的に採用した。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">【導入機械一覧】</th> </tr> <tr> <th>台数 (units)</th> <th>使用工種 (Type of work)</th> <th>低騒音 低振動型</th> <th>排気ガス 対策型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>土工 平土工</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>土工 盛土工</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>土工 切土工</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>土工 掘削工</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	【導入機械一覧】				台数 (units)	使用工種 (Type of work)	低騒音 低振動型	排気ガス 対策型	1	土工 平土工	○	○	2	土工 盛土工	○	○	3	土工 切土工	○	○	2	土工 掘削工	○	○
【導入機械一覧】																											
台数 (units)	使用工種 (Type of work)	低騒音 低振動型	排気ガス 対策型																								
1	土工 平土工	○	○																								
2	土工 盛土工	○	○																								
3	土工 切土工	○	○																								
2	土工 掘削工	○	○																								
13	造成工事においては、開発による流出水の増加に対処するため側溝及び調整池工事を先行し、降雨時における濁水の流出を低減することで、水の濁りを低減する。	側溝及び調整池工事を先行し、降雨時における濁水の流出を低減することで、水の濁りを低減した。 (実施記録：調整池工事を先行して実施し、堆積土砂の撤去を行った。)																									
14	切土、盛土法面等の緑化を速やかに実施し、降雨時における裸地からの濁水の流出を低減することで、水の濁りを低減する。	切土、盛土法面等の緑化を速やかに実施し、降雨時における裸地からの濁水の流出を低減することで、水の濁りを低減した。 (実施記録：法面の緑化を速やかに実施し、濁水流出の低減を図った。)																									
15	必要に応じて、フトンカゴ及び土留め効果として、しがら柵を設置して、降雨時における土砂の流出を低減することで、水の濁りを低減する。なお、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。	フトンカゴ及びしがら柵を設置して、降雨時における土砂の流出を低減することで、水の濁りを低減した。地域に固有の在来種による植栽等を行った。 (実施記録：しがら柵を設置して土砂流出の低減を図った。)																									
16	切土、盛土法面には速やかに転圧を実施し、定期的な道路維持管理の際にも適宜、転圧を行い、降雨時における濁水の流出を低減することで、水の濁りを低減する。	法面の転圧、定期的な道路維持管理の際の転圧を行い、降雨時における濁水の流出を低減することで、水の濁りを低減した。 (実施記録：造成面の転圧を行い、濁水流出の低減を図った。)																									

表 6.2(4) 令和7年度に実施した環境保全措置の実施状況




資料	環境保全措置	実施状況	実施記録(写真・文章)
17	定期的に見回りを行い、法面及び調整池の適切な維持管理に努めることで、水の濁りを低減する。	定期的に法面及び調整池の見回りを行い、適切な維持管理に努めることで、水の濁りを低減した。 (実施記録：定期的な見回りを行った。)	
18	工事中は、コンクリート養生や粉じん飛散防止のための散水を行う程度とし、河川の水質に影響を与える大規模な散水等を行わないことで、水の濁りを低減する。	散水は、コンクリート養生や粉じん飛散防止のための散水を行う程度とし、河川の水質に影響を与える大規模な散水等を行わないことで、水の濁りを低減した。 (実施記録：散水は必要最小限とした。)	
19	工事期間中の平水時及び降雨時に調整池排水口で浮遊物質濃度のモニタリング調査を行い、影響が大きい場合には、改変区域内への仮設沈砂池の設置や調整池の浚渫などの対策を講じることで、水の濁りを低減する。	工事期間中の平水時及び降雨時に調整池排水口で浮遊物質濃度のモニタリング調査を行った。 (実施記録：水質のモニタリング調査を行った。)	
20	コキクガシラコウモリの越冬場所である隧道跡及び周辺の樹林環境について造成計画の見直しにより、直接改変を回避した。	本事業の計画段階において、コキクガシラコウモリの越冬場所である隧道跡及び周辺の樹林環境について造成計画の見直しにより、直接改変を回避した。 (実施記録：直接改変を回避し、評価書に記載した。)	評価書 p. 722「表 重要な種(哺乳類)への影響予測結果(コキクガシラコウモリ)」に記載したとおり、計画段階において造成計画を見直し、直接改変を回避し影響の低減に努めた。
21	造成計画の検討にあたっては、できる限り造成済みであるフェアウェイを活用し、樹林の改変面積の最小化に努めた。詳細設計にあたっては、地形や既存道路等を十分考慮し、改変面積のさらなる縮小化に努めることで、動物への影響、生態系への影響を低減する。	造成計画の検討にあたっては、できる限り造成済みであるフェアウェイを活用し、樹林の改変面積の最小化に努めた。 (実施記録：樹林の改変面積を最小化し、評価書に記載した。)	評価書 p. 717～723「表 重要な種(哺乳類)への影響予測結果」に記載したとおり、計画段階において、造成済みであるフェアウェイを活用し、樹林の改変面積の最小化に努めた。

表 6.2(5) 令和7年度に実施した環境保全措置の実施状況

資料	環境保全措置	実施状況	実施記録(写真・文章)
22	調整池の適正な管理を行う。また、必要に応じて、降雨時における土砂の流出による濁水の発生対策として、フトンカゴ及び土留め効果としてしがら柵を設置する。さらに切土、盛土法面には速やかに転圧を実施し、定期的な道路維持管理の際にも適宜、転圧を行うことで、動物への影響、生態系への影響を低減する。	調整池の適正な管理を継続して実施している。フトンカゴ及びしがら柵を設置した。また切土、盛土法面には速やかに転圧を実施し、定期的な道路維持管理の際にも適宜、転圧を行うことで、動物への影響、生態系への影響を低減した。 (実施記録：しがら柵を設置して土砂流出の低減を図った。)	
23	切土、盛土法面等の種子吹付けを速やかに実施し、早期緑化を行い、降雨時における裸地からの濁水の流出を低減する。また、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。なお、必要に応じて、不織布等を用いた法面保護シートを設置することで、濁水の流出を低減する。	法面等の種子吹付けを速やかに実施し、早期緑化を行った。また地域に固有の在来種による植栽等を行った。不織布等を用いた法面保護シートを設置した。 (実施記録：法面は早期緑化を行い、必要に応じて法面保護シートを設置した。)	
24	工事関係車両の走行速度等の注意喚起を行うことで、動物への影響、生態系への影響を低減する。	新規入場者教育において、工事関係車両の走行速度等の注意喚起を行った。 (実施記録：工事関係車両の走行速度等の注意喚起を行った。)	
25	工事関係者の改変区域外への必要以上の立ち入りを制限することで、動物への影響、植物への影響を低減する。	工事関係者の改変区域外への必要以上の立ち入りを制限することで、動物への影響、植物への影響を低減した。 (実施記録：改変区域外への立ち入りを制限した。)	

表 6.2(6) 令和 7 年度に実施した環境保全措置の実施状況


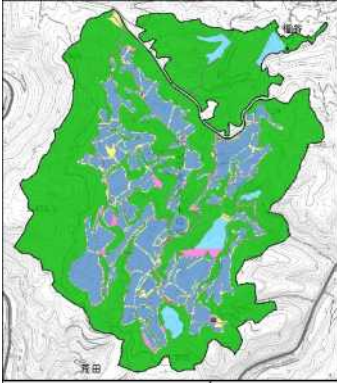


資料	環境保全措置	実施状況	実施記録(写真・文章)
26	<p>回避・低減を優先して検討したが、計画上やむを得ない場合には、対象事業実施区域において、生育適地となるまとまった湿地環境を環境創出した場所へ移植するといった方策を行い、個体群や群落の保全に努める。移植や環境創出を検討する際には、方法及び移設先の選定等について専門家等の助言を得ることで、植物への影響を低減する。造成計画の見直しにより、ナツアサドリ生育場所の直接改変を回避した。</p>	<p>令和 6 年 6～10 月において、動物（両生類、昆虫類、底生動物）15 種等の移設を行った。移殖先は沢、池、湿地(ビオトープ)とした。 また計画段階において、造成計画の見直しにより、ナツアサドリ生育場所の直接改変を回避した。 (実施記録：移殖作業の状況)</p>	
27	<p>現況の樹林をできる限り残存させ、伐採量の低減に努めることで、環境負荷を低減する。</p>	<p>計画段階において、現況の樹林をできる限り残存させ、伐採量の低減に努めた。 (実施記録：現況の樹林をできる限り残存させた。)</p>	 <p>緑色：残地森林</p>
28	<p>伐採木はチップ化等により再生利用する。また、太陽光パネル、変電機器にかかる大型機器は可能な限り工場組立とし、大型機器の梱包材等の廃棄物の発生量を低減するとともに、その有効活用に努めることで、環境負荷を低減する。</p>	<p>場内で発生したコンクリートは、小割して再利用を図った。 (実施記録：コンクリートの小割による再利用状況。)</p>	
29	<p>工事の実施による産業廃棄物は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成 12 年法律 104 号)に基づき建設資材の再資源化等に努め、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(昭和 45 年法律第 137 号)に基づき、適切に処理することで、環境負荷を低減する。</p>	<p>工事の実施による産業廃棄物は、建設資材の再資源化等に努め、適切に処理することで、環境負荷を低減した。 (実施記録：コンクリートの小割による再利用状況。)</p>	

表 6.2(7) 令和7年度に実施した環境保全措置の実施状況

資料	環境保全措置	実施状況	実施記録(写真・文章)
30	造成計画の見直しを行い、地形や既存道路等を十分考慮して改変面積の縮小化に努め、残土の発生を抑える。また、削工事に伴う発生土は、埋め戻し、盛土及び敷き均しに利用し、残土の発生を抑えることで、残土発生量を低減する。	計画段階において、改変面積の縮小化に努め、残土の発生を抑えた。また、削工事に伴う発生土は、埋め戻し、盛土及び敷き均しに利用し、残土の発生を抑えることで、残土発生量を低減した。 (実施記録:切土・盛土のバランスを図り、残土の発生を抑えた。)	 <p>黄色：切土、赤色：盛土</p>
31	工事関係車両の適正走行、アイドリングストップ、空ぶかしの防止を工事関係者に徹底することで、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減する。	工事関係車両の適正走行、アイドリングストップ、空ぶかしの防止を工事関係者に徹底し、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減した (実施記録:空ぶかしの防止を工事関係者に徹底した。)	
32	環境保全措置の内容について、工事関係者に周知徹底することで、環境保全措置をより確実に実行する。	環境保全措置の内容について、工事関係者に周知徹底することで、環境保全措置をより確実に実行した。 (実施記録:関係者協議の際に、環境保全措置を周知徹底した。)	
33	造成計画の検討にあたっては、重要な種であるサシバの営巣中心域及び高利用域の改変を可能な範囲で回避した。また、方法書段階で計画していたB区への太陽光パネルの設置を行わないこと、A区への効率的な太陽光パネルの設置により改変面積の最小化に努めたことで、生態系への影響を回避する。	造成計画の検討にあたっては、重要な種であるサシバの営巣中心域及び高利用域の改変を可能な範囲で回避した。また、方法書段階で計画していたB区への太陽光パネルの設置を行わないこと、A区への効率的な太陽光パネルの設置により改変面積の最小化に努めたことで、生態系への影響を回避した。 (実施記録:調査結果に基づく環境保全措置を造成計画に反映した。)	 <p>緑色：残地森林</p>
34	工事工程を調整し、サシバの繁殖期における営巣中心域に隣接する工区での工事を回避することで、生態系への影響を低減する。	工事工程を調整し、サシバの繁殖期における営巣中心域に隣接する工区での工事を回避することで、生態系への影響を低減した。 (実施記録:工程会議では、影響を低減するための工事工程の調整を行った。)	

表 6.2(8) 令和7年度に実施した環境保全措置の実施状況

資料	環境保全措置	実施状況	実施記録(写真・文章)
35	<p>樹木の伐採の縮小化に努め、造成により生じた裸地部は、種子吹付け又は植樹による緑化を行い、植生の早期回復を実施した後、自然遷移に委ねた現状の植生回復に努めることで、生態系への影響を低減する。なお、地域の植生、維持管理方法等に配慮の上、植生の専門家等に意見を求めた上で、地域に固有の在来種による植栽等を検討する。</p>	<p>樹木の伐採の縮小化に努め、造成により生じた裸地部は、種子吹付け又は植樹による緑化を行い、植生の早期回復を実施した後、自然遷移に委ねた現状の植生回復に努めることで、生態系への影響を低減した。地域に固有の在来種による植栽等を行った。 (実施記録：種子吹付けによる法面緑化)</p>	